



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

# たよりIGL

エールを送るコミュニティマガジン

145号

2025年1月10日発行



IGLの夢、それは  
すべての人が生ある喜びを  
わかちあえる理想郷づくり。

巻頭特集  
年頭のご挨拶  
IGLの今、これからの夢

IGLで働くひとインタビュー  
サムエル園長リレーコラム  
IGL医療福祉専門学校の推しポイント  
IGL高齢複合施設西風新都トピックス

教えてドクター！  
教会から「愛の手紙」  
施設だより  
LOVE注入レシピ

# Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。



## 明けておめでとうございます



理事長  
永見 憲吾

皆様方にはお元気で新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
シャレー群であるナーシングホームシャレーは2024年度より全国からユニットリーダーを受け入れる「ユニットリーダー研修 実地研修施設」として広島県で初めて認定されました。  
ユニットケアの行動指針は、「その人の立場に立って行動する」ことです。一人ひとりに寄り添い、思いを叶え、その人らしい生活を営むことが出来るよう支援する「個別ケア」の実践こそがユニットケアであり、尊厳を守るケアなのです。  
ハード面では、「自分の住まい」として施設らしくない施設づくりが必要です。  
ソフト面では、職員教育の徹底。特に虐待防止、身体拘束、認知症ケア等は必須の研修です。実地研修施設では「業務」という言葉はマッチせず、一日の生活スタイルは一人ひとり異なり、個々の思いに沿ったケアを行うことは、共に生きることであり、そこに必要な当施設の行動目標である「目配りと気配りと思いやり」を持ち合わせた職員が求められています。  
このシャレー施設群にとどまらず、IGL施設群全体にこのような気持ちでケアが出来るように今年も頑張っていきたいと思っております。  
さて、今年も元旦に中国新聞のLEADERS倶楽部に記事が掲載されましたので、こちらに紹介させていただきます。  
本年も皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 各施設群の代表に「今年の抱負」を聞きました



ゆうゆう群管理者  
永見 悠騎

「IGLの夢、それは乳幼児から高齢者に至る人生の理想郷づくり」  
目まぐるしく物事が変わっていく時代・社会環境の中で常に『夢』を忘れず一歩一歩邁進してまいります。



シャレー群管理者  
渡辺 正子

「現状維持は衰退」好きなことばです。  
仕事も私生活も「新しいことへの挑戦」をこれからも楽しんでいきます。



ベル群管理者  
河野 隆典

2025年は、「高齢者の急増」が「現役世代の急減」への局面を迎える年です。  
「現役世代急減予防策」を練り、「介護の働き甲斐づくり」に注力します。



専門学校校長  
本廣 淳範

本年も6学科の学生全員の夢を実現するために、教職員一同はきめ細やかな教育活動を全力で推進します。



こども園学園長  
宮田 美智子

一人ひとりみんな違う子どもたちが、自分で選び、決断し行動する。子どもも大人も人としての尊厳が守られる。これがサムエルの教育の基本です。

## IGLの今、これからの夢

北欧発祥で野外で活動する「森のようちえん」構想が進みます。

自然と触れ合う機会の少ない現代の子どもたちに本物体験をさせたいと、広島市安佐北区後山の山地約1万6,500平方メートルを整備中です。木々が茂る丘に遊歩道を設け、ツリーハウスなどを計画しています。2025年内に一部をオープンさせ、グループの認定こども園の園児たちに活用してもらいます。四季折々の自然の中で虫取りをしたり、木の実を拾ったり、遊びを通じて園児の健やかな成長を促します。近くの広島市安佐動物公園と組み合わせた遠足などを企画したいですね。



IGL医療福祉専門学校(安佐南区)は多くの専門職を地域に輩出しています。

歯科衛生士や介護福祉士、鍼灸師、柔道整復師の資格取得を目指す医療福祉4学科の卒業生の多くが広島県内で就職しています。ただ、広島県は転出超過数が3年連続で全国最多となり、中でも若年層の流出が目立ちます。今後は県北の学生のUターン就職が進むよう、交通費の補助など自治体との連携を模索したいと考えています。



歯科衛生学科卒業生 小野さん



介護福祉学科卒業生 劉さん

外国人の活用に積極的です。

介護の即戦力として2025年1月、特定技能の在留資格を持つインドネシア人13人を受け入れ、グループの高齢者施設に配置します。外国の技能実習生は以前から受け入れており、日本の介護福祉士や看護師の資格を取って働き続ける人もいます。大変優秀です。人口減少が進み働き手が不足する中、外国の方の力もお借りしながら介護の質を維持します。

IGL医療福祉専門学校(安佐南区)の日本語学科は中国、ベトナムに加え、近年はネパールの留学生が増えています。2025年度の定員は過去最多の300人に増やす予定です。



ネパールの留学生(2024年学園祭)

IGLのこれからの計画について

グループホームゆうゆう(安佐北区)は開所から20年以上がたち建物の色あせが目立ってきました。外壁の塗装と修繕を始めとして2025年2月末に完成予定です。

グループ本部(安佐南区)の空き施設を活用して、放課後等デイサービスなどができないか検討中です。敷地内の施設にはリハビリができる理学療法士や作業療法士もいます。人材確保に課題はありますが、障害のある地域の子どもの受け皿づくりに取り組みたいと思っています。



エールを送る！

IGLで働くひと Interview

IGLで感謝の大切さを学び、保育に生かします

つちたに きよみ  
保育教諭・正職員 **槌谷 清美さん**  
2004年入職 サムエル美鈴が丘こどもの園で勤務。



お仕事の内容を教えてください

現在は、2歳児担任として正職員で働いています。

日頃から大切にしていることはありますか

「子どもの行為には必ず意味がある」という事を大切に子どもと日々関わっています。子ども達が、うまく言葉で表現できず、乱暴なふるまいになってしまったり、泣くことで表現したり、その子の背景にあるものも想像しながら、思いを汲みとり、子どもの思いに寄り添っていけるよう心掛けています。また、保護者の方とも一緒に子育てをしていくパートナーとして、子ども達の事を一緒に見守り、成長を喜び、時には悩みながらも日々を大切に過ごしていきたいと考えています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

IGLで働かせていただくようになって、初めに感じたのは、「ありがとう」が溢れている職場だと思いました。誰に対しても、いつも感謝を忘れずにいることの大切さを教えてもらいました。その事が保育の中でも、子ども・保護者の方・地域の方・職員同士…と繋がり、子どもの心にも自然に育まれているのだと感じています。

感謝の心を大切にしていると、相手の良い面がよく見えてくるので、今世の中で言われている「自己肯定感」を育てる上でも、とても大切だと思っています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

一人ひとり違った良さがあり、その違いを認め合い、助け合って仕事ができる素敵な職場だと思います。これからも、子ども達の一日一日が、笑顔で満たされるよう、常に学び合い、より良い部屋・園づくりをしていきたいと思っています。

同僚からのエール！

「子どもにとって…」が一番を考え、優しい声と落ち着いた雰囲気子どもに寄り添いながら、見えない心の声に耳を傾けることを大切にされています。保育に悩んだ時、彼女と話をすると、自分の気持ちが整理され、前向きな気持ちになります。とても頼もしい同僚です。(同僚:田熊 清美さん)



卒園生からのエール！

サムエル広島こどもの園 2019年卒園  
たぞえ りゅうのすけ  
**田添 琉乃介さん** 中学1年生



「毎日楽しく元気に美味しいものを食べる」

これは僕の楽しい生き方を言葉にしたもの。僕とはにかく絵を描くことが好きで、毎日頭に浮かんで描いている。すると僕に会うと元気になると言ってくれる人や、「この絵いいね」と僕の絵を見てワクワクしてくれる人が増え、今では僕の友達の平均年齢は51歳になってしまった。最高齢は染色家・柚木沙弥郎さん101歳です。

僕は今、どういわけか…自分が幸せ者のように思えなくもありません。だからこれからも変わらず楽しい日々を送ります。サムエルの給食の秋刀魚1匹、嬉しかったですね。



琉乃介さんの作品



左から1人目が当時の琉乃介さん

乳幼児保育・教育事業 Topics 9月~12月

ひみつ基地作ろう！ ~あるクラスのお部屋だよりの記事より~



きっかけは、「わんぱくだんのひみつきち」「パムとケロのもりのこや」2冊の絵本から「遊び」が生まれました。色とりどりの落ち葉を集めてきた子どもたち。森をイメージして、壁面を落ち葉で埋め尽くすようです。



中に入るには、糸でんわで暗号のやりとりを交わさなければなりません！



中では肩を寄せ合って、何やらこしょこしょ話  
お友だちとのひ・み・つの時間を楽しんでいます。



ワクワクが詰まった、子どもたちの秘密基地です！

子どもたちは見聞きしたことや経験したことから、想像を膨らませます。こうしてみよう、あしてみようと友だちと考えやアイデアを出し合いイメージしたことを表現します。



みんなで、たき火を囲むのも楽しいよね！

絵本のご紹介



作・絵 島田ゆか  
出版社 文溪堂



作 ゆきのゆみこ、上野与志  
絵 末崎茂樹  
出版社 ひさかたチャイルド

サムエル園長先生リレーコラム 心を育む



サムエル薬師が丘こどもの園  
内村 美奈子園長

日本にある美しい四季。四季折々の自然に触れることで心が豊かに育ちます。子どもたちは「きれいな花だね。」「風って気持ちがいいね」「雪、冷たい！」と色々な発見にワクワクします。感性の育ちの始まりです。赤や黄色に色づく葉や様々な形をした木の実を見つけると、心躍らせてままごとや制作を楽しみます。

五感を通して自然を感じ、遊びの中に上手に取り入れていきます。自然から学ぶことはたくさん。園でも家庭でも自然のある環境や活動を大切にしていきたいですね。まずは日常の当たり前にある自然の中で子どもたちの声に耳を傾け、顔を上げ、心を開いて共感していきましょう。



園児募集について

サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

エールを送る！

IGLで働くひと Interview

考える力を育み、未来の即戦力に

しのとう こうじ  
教員 篠藤 航司さん

2013年 入職 IGL医療福祉専門学校日本語学科の学科長として勤務。



お仕事の内容を教えてください

日本語学科の学科長として外国人留学生に日本語を教えています。この学校の専任教員になって今年で9年目で、日本語を教えるだけでなく、学生への生活指導や進路指導もしています。

日頃から大切にしていることはありますか

自分自身も過去に留学していたときに、異国で違う言語を勉強する大変さは分かっているので、そんな中でもどうしたら学生にとって分かりやすい授業になるか、楽しい授業とはどのようなものかを常に考えて授業をしています。教師がただ教えるのではなく、学生自身に考えてもらい、クラスメイトと協同した上で、日本語が分かる・日本語ができる楽しさを味わってほしいと思います。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

外国人である学生と接する際に、彼らの価値観を大事にすることと、日本の価値観も理解してもらうことのバランスが大事だと思っています。日本人からしたらありえないことも、すぐ否定するのではなく、彼らの背景にある価値観や文化を受け止めた上で、日本で生活していくにはどうしたらいいのかが指導することを心がけています。これから多文化共生が必要になってくる日本ではお互いがお互いのことを理解しようとする姿勢が大事だと思っています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

街中でも旅行者じゃない外国人を見かけることが多くなってきたと思います。外国人だからと距離を感じるのではなく、外国人だからこそ、積極的に関心を持ち、外国人のことに興味を持って知ってもらえたら嬉しいです。

同僚からのエール！

学科内でさまざまな課題が発生した際には、いつも一緒に解決方法を探ってください。問題の本質を見極め適切なアドバイスをしてください。とても頼もしいです。日本語学科の学生と教員を常に支えてくださる、学科にとってなくてはならない存在です。(同僚:日本語学科専任教員 細井戸忠延さん)



卒業生からのエール！

母国の将来を見据え、日本で介護の力を磨く

介護福祉学科  
2023年3月卒業  
りゅう しょうほう  
劉 小鳳さん  
IGLナースホームチャレンジャー  
介護福祉士



母国の中国も高齢化が進み、社会の課題となっています。姉の友人が中国の老人ホームで仕事をしてきたことから、介護の仕事が将来さらに必要になることを知り、日本で勉強して経験を積むことを考えました。IGLの日本語学科から介護福祉学科に進み、介護福祉士の資格を取得して2023年4月からナースホームチャレンジャーで仕事をしています。実際に働いてみて、上司の方や周りのスタッフの方もとても優しく、この仕事に就いて良かったと実感しています。

11月に行われた第7回ひろしまケアコンテストに施設長の勧めで出場しました。各ユニットのリーダーの方々に毎日代わるがわる練習につきあっていただいたおかげで、奨励賞を受賞できてとても嬉しかったです。ご利用者さまから、優しいね、とか、あなたがいると安心すると言っていたことが何よりの励みです。



専門学校事業 Topics 9月~12月

PICK UP! 11月16日、IGL学園祭を開催しました!

各学科のブースやゲーム、留学生による自国の紹介、ヘアメイクや革細工の体験、たくさんのキッチンカーなどで大変盛り上がりました。今年も飯室神楽団による演目披露もあり、学生はもちろん保護者や卒業生、地域の方々などたくさんの方にご来場いただきました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。そして地域の皆さま、学園祭の開催にあたってのご協力に感謝申し上げます。



もっと知って、IGL!

心・知識・技術を備えた医療福祉のスペシャリストを育成する専門学校。在校生が感じる“愛とつながり”の推しポイントをPick Up!

IGLのここが推しポイント 2

#社会人経験者も安心して学べる!

入学までにさまざまな経験を積んだ社会人入学生は、目的意識や意欲の高い人が多く、クラスの中でもリーダー的な存在!現役高卒生にとって社会人は、同じ目標を持つ頼もしい先輩です。

また、幅広い年齢層の人たちが一緒に学ぶことは、卒業後の仕事や顧客とのコミュニケーションにも役立ち、お互いが相乗効果を生んでいます。



IGLの国家資格者養成 2大特色

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%! 専門学校の情報はIGL YouTube CHANNELでご確認ください!



エールを送る！

IGLで働くひと Interview

キャリアと人間力で現場を牽引し働く女性の憧れとなるリーダー

さかい あきこ  
群管理者補佐兼看護職員 坂井 晶子さん

2024年入職 ベルシャレー施設群 IGL高齢複合施設西風新都に着任。



お仕事の内容を教えてください

ベルシャレー施設群 IGL高齢複合施設西風新都 管理者補佐兼看護師として、通所介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型日常生活介護の4事業の統括責任者を拝命しています。

日頃から大切にしていることはありますか

当施設が関わっている利用者様は、お一人お一人様々な身体的精神的な状況があり、又生活環境も異なります。その方々が必要とされる支援を各部門で、その人その人に合わせた心を込めた支援を行えるように、職員がお互いに助け合い、チームケアを行うことがなにより大切と考えます。それによって、利用者様の生活の質が上がりよりよい日常生活を送っていただくと信じています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

法人の理念である「隣人愛」は、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛なさい」というキリスト教の教えです。これは、すべての人はそれぞれ貴重な価値を持ち、お互いにその価値を認め合うことから生まれるということです。このような理念を掲げているIGLで働くことは、利用者様やその家族、職員や地域の方々と関係においても尊重し合い、感謝し、喜びを分かち合い、その人らしく生きることを支えることができるということをあらためて学びました。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

私は2024年4月に入職したIGLの新任者で、10年ぶりに現場に復帰しました。上司をはじめ職員方々に支えていただきながら仕事をしています。利用者様やそのご家族に、より良い支援ができるよう、職員と学び実践していきたいと思ひます。

上司からのエール！

当法人役員(平成30年就任)と看護師・社会福祉士・大学教授という稀な経験と知識、指導力で現場を牽引しています。この牽引力の源は、坂井さんの道徳観、優しさ、決断力によるものです。ハツラツと仕事しているその姿は、働く女性の憧れになっていると思います。(ベルシャレー群管理者 河野 隆典さん)



今回は、中国で看護資格を取得した後来日し活躍する中国出身の職員をご紹介します。

活躍するあなたへエール！

経歴を教えてください

学生時代日本のアニメを見るのが好きでした。6年前に中国の看護専門学校で、日本の医療技術や介護について教わりました。中国は現在高齢化が進んでいるので、日本で学んだ技術と専門知識を中国に持ち帰り、優秀な介護士になりたいと日本で働こうと思ひました。



日本で働くと思ったきっかけ、IGLで学んだこと等を教えてください

IGLで仕事をしている上司や先輩たちは、皆優しく辛抱強く接してくれて、日本の生活に大きな関心と助けを与えてくれました。介護の仕事に従事して、命の大切さが一層深まりました。特養で私たちは高齢者の長い人生の最後の付き添いです。身体の介護と生活のお世話だけが介護の全てではありません。利用者の話に耳を傾けて利用者の考えを理解し、家族や友達になる。利用者が私に言う全ての「ありがとう」は私の心を暖かくしてくれます。この仕事が大好きで将来はもっと優秀な介護士になりたいと思ひています。



ナーシングホームゆうゆう  
ようつき  
陽 月さん

高齢福祉事業 Topics

IGL高齢複合施設西風新都 9月~12月



「IGL高齢複合施設西風新都」は、安佐南区大塚西に2010年10月に開設し、14年が経ちました。「グループホーム」「小規模多機能型居宅介護」「デイサービス」「居宅介護支援事業所」の4つの事業所がある、地域に根差した高齢者複合施設です。

町内会、民生委員、近隣の病院やクリニック、サービス事業所、地域包括支援センター等と連携を取りながらご利用者様の生活を支えています。

入所サービス

● IGLグループホーム西風新都

グループホーム西風新都は認知症の方々が、1ユニット9名で2ユニット計18名の方々に入居いただき共同で日常生活を送っていただいております。リビングルームの窓から見える山々の景観は素晴らしく、アストラムラインを同じ目線で眺めながら、四季折々の自然が楽しめます。夏祭りや敬老会、忘年会などの大きな行事はとても盛り上がり、毎年皆様は楽しみにしておられます。日々の生活



の中や一つ一つの行事を入居者様に喜んでいただき、健康やかにお過ごしいただくことがスタッフ一同の願いです。



● IGL小規模多機能型居宅介護西風新都

IGLグループの中で唯一の小規模多機能型居宅介護事業所です。ご自宅での生活ができる限り続けて頂ける様、顔なじみのスタッフが関わり一つの事業所で通所・泊り・訪問を柔軟に組み合わせ地域に密着したサービスを提供しています。本年9月には4年ぶりに敬老会を二胡演奏のボランティアの方々をお招きし開催することができました。ご家族の方もお招きし利用者様と共に祝いできたことを大変喜ばれました。



通所サービス

● IGLデイサービス西風新都

デイサービスでは、専門の運動指導員による柔軟体操やマシントレーニングなどの機能訓練や毎月の季節行事に加え物作りクラブやパステルアート、挿花など充実したクラブ活動を行っています。明るい雰囲気の中で、笑い声や笑顔の絶えないデイサービスです。

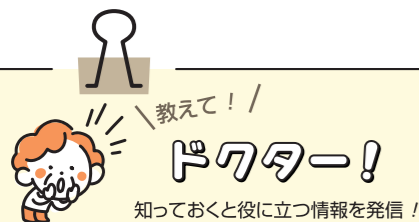


訪問サービス

● IGL居宅介護支援事業所西風

居宅介護支援事業所は、ご自宅での生活を支えるための事業所で、ケアマネジャーが利用者やその家族からの相談に応じ、介護に関する情報提供やアドバイスを行います。これにより、利用者が安心して生活できるよう支援します。





生活習慣病と肝疾患の関係

クリニック アルペンローゼ  
医師 江藤 高陽 先生

生体内で最大の実質臓器である肝臓は、人体にとって必要不可欠な働きを担い、体の中の工場とか沈黙の臓器と呼ばれている。今回は、肝疾患と生活習慣病について勉強してみよう。

- 1 肝臓とは
- 2 体の中の化学工場
- 3 沈黙の臓器
- 4 肝臓の働きを妨げる原因にはいかなるものがあるのか？
- 5 アルコールや生活習慣病による肝硬変の発生頻度

右上腹部に位置し、重量は1,000～1,500g、比較的軟らかい臓器である。肝臓は他の臓器と異なり流入血管を2本持つ(肝動脈と門脈)。肝動脈は肝臓の栄養血管で、全肝血流量の30%、門脈は全肝血流量の70%を占め、肝臓の機能血管と呼ばれ、消化管から吸収された栄養を肝臓へ運んでいる。血流の多い門脈に障害が起こると、肝臓の働きが落ち生体機能を維持できなくなる。

門脈から運ばれた栄養を基に、糖・コレステロール・タンパク質・ビタミンなどを合成する。余分な糖やビタミン、鉄などを肝臓内に貯蔵する。貯蔵分が、体内で不足すればこれらを分解し、体内に放出する。アンモニア・薬物・アルコール・毒素など、有害物質を分解し無害化する。コレステロールから胆汁酸を産生し不要物と共に胆汁として排出する。

このように、肝臓の働きは複雑多岐にわたる。

肝臓は、障害が及んでも修復し再生機能を有する臓器である。例えば手術で肝切除を行っても、正常肝であれば再生し、元の肝重量に戻ることが知られている。肝臓は傷んでも音を上げず、黙ってひたすら働き続ける臓器である。しかし、ある限界を超えると工場が動かなくなり肝臓の機能不全である肝不全となる。こうなれば、助かるには肝臓移植しかない。

生活習慣(アルコールを含む)の乱れから、肝障害を引き起こし、肝硬変、さらには肝細胞癌に進展する例が明らかに増加しています。健診例の中にこのような傾向を有する方が増加しています。適度の飲酒、適度のカロリー摂取、運動にも心がけましょう。検査上肝障害を認めても、自覚症状は初期段階では認めません。症状が出たときはかなり進行していると考えられます。早めの対策が必要です。

①アルコール性肝障害:治療は禁酒しかない。

5年以上にわたる過剰な飲酒(日本酒で1日3合以上・ビールで大瓶3本以上・ウイスキーダブルで3杯以上)により脂肪肝・肝線維症・肝炎となり肝硬変・肝細胞癌へと進展。

②ウイルス性肝炎:専門医受診。

B型やC型肝炎ウイルスにより、急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝細胞癌へと進展する。肝炎ウイルスを認めた時点で、肝臓専門医に受診し抗ウイルス薬などの投与を受けると、肝硬変や肝細胞癌への進行を阻止できる可能性が高い。

③生活習慣病:日常生活改善を。

非アルコール性脂肪性肝疾患(いわゆる脂肪肝)を放置すると、肝の繊維化が進行し肝硬変になる。肥満の方に多く、さらに悪化すると肝不全や肝細胞癌に進展する。

④以前は、ウイルス性が圧倒的に多くを占めていたが、最近ではアルコール性や非アルコール性脂肪性肝疾患(肥満・脂質異常)による肝障害が増加している。

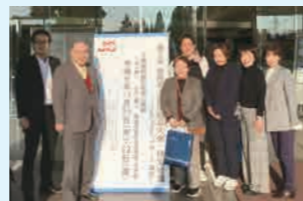
	1988年	2018年	2023年
B型肝炎ウイルス	12.0%	11.5%	8.1%
C型肝炎ウイルス	65.0%	48.2%	23.4%
非アルコール性脂肪性肝疾患(脂肪肝)	—	6.3%	14.6%
アルコール性	13.0%	19.9%	35.4%

全国老人福祉施設大会 in 滋賀  
研究発表を行いました！

9月に松江市で開催された中国地区老人福祉施設研修大会において、IGLナーシングホームシャレーの「ユニットリーダー実地研修施設への取り組み」が全国老人福祉施設大会の発表事例として推薦されました。11月21日・22日に滋賀県で開催された、第3回全国老人福祉施設大会でIGLナーシングホームシャレー職員らの松川さんと迫川さんが研究結果を発表しました。これまでの私たちの取り組みを評価していただき職員一同誇りに思います。これからもご利用者さまが安心して過ごせる施設として、より良い環境づくりに取り組みます。

第1分科会分断会① 認知症対応 / 医療・介護連携、看取り  
その人らしさを支える介護の実践～根拠あるケアの展開～

IGLナーシングホームシャレーの取り組み  
「その人らしい暮らしを支えるユニットケア」  
～ユニットリーダー実地研修施設への取組～



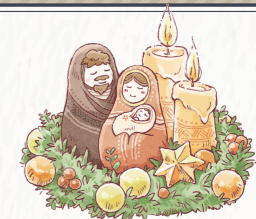
当日は理事長、副理事長をはじめ施設関係者も駆けつけ、松川さんと迫川さんの発表を見守りました。



通常業務を行いながらの研究発表をみんなで労いました。

教会から「愛の手紙」

インドネシアで感じた  
クリスマスの意味と福音の喜び



IGLチャプレン 佐藤明男先生

私は、12月3日から8日まで、インドネシアの日本語学校とその分校、そして、クリスチャンの高等学校を、永見理事長に随行して訪問しました。

初冬だった日本を発ち、中国の上海経由でジャカルタに着くと、丁度雨期で湿度が高く、温度も30度位ありました。

丁度、クリスマスシーズンであり、人口の70%位がイスラム教で、残りの30%がクリスチャンであると言われているインドネシアのホテルや空港には、大きなクリスマスツリーの飾りつけがしてありました。

クリスマスは、イエス・キリストの御降誕をお祝いする日です。世界中でお祝いされているクリスマスは、どうしてそれほど重要なのでしょうか。

実は、私たち人間は、生まれた時から原罪とよばれる罪の性質を持っており、聖なる神との関係を持つことができませんでした。使徒パウロは、次のように言っています。

神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。(1テモテ2:5、新改訳2017)

そうです。神と人との間の仲介者は、唯一、「人としてのキリスト・イエス」なのです。また、使徒パウロは、次の様にも言っています。

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたいのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおり



JGECのメダン分校の教室にて



アイベカトマングクリスチャンスクールにて先生方とJGECの代表

IGLのクリスマス会

12月22日リーガロイヤルホテル広島

IGLのクリスマス会を開催し職員の勤労に感謝しました。今年が高齢施設、医療施設の関係者も参加し大変盛り上がりしました。特別ゲストとして、ヴィオラ奏者の沖田孝司さんによる演奏が披露されました。



理事長の挨拶



こども園教職員によるコーラス



沖田さんの演奏



IGLダンススタジオによるキッズダンス

IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

## 施設だより

vol.5

社会福祉法人IGL学園福祉会

特別養護老人ホーム

### ナーシングホームゆうゆう



**住所** 〒731-3352  
広島市安佐北区安佐町後山12415-5

**電話** (082) 838-3333

**開設** 1985年7月10日

**職員数** 69名 **定員** 83名



※2024年12月現在

家庭的な雰囲気の中で、個別ケアに力を注ぎお一人おひとりの気持ちを大切にするケアを心がけています。

四季折々の環境も素晴らしく、春は満開の桜、秋は紅葉と季節ごとに周りの自然が楽しめます。

ナーシングホームゆうゆうは、開設後39年を経過した最も歴史と伝統のある施設です。

豊かな自然環境で四季折々の景観も素晴らしく、春は満開の桜、秋は紅葉と周りの自然が楽しめ、ご利用者様にも喜んで頂いています。

昨年度は第二ゆうゆうの大規模改修を行い、木目調の落ち着いた明るい雰囲気に変わり、ご利用者様にも好評です。来年度は、ゆうゆうも大規模修繕を行う予定です、完成を楽しみにしていきましょう。



#### ひとこと

ゆうゆうの施設長に就任してから3年を経過しました。この間、新型コロナとの戦いの日々でしたが、利用者の方に安心して楽しく過ごして頂けるよう引き続き取り組んで参ります。



寺崎 雅浩 施設長

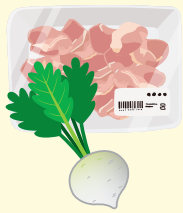
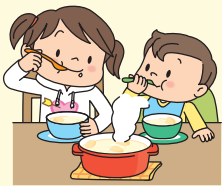


## LOVE注入♡レシピ



忙しいママパパや、お料理が億劫になりがちなシニアの皆さんへ季節のレシピをご紹介します。

### かぶと鶏むね肉の とろとろスープ



#### 材 料 (2人分)

- かぶ…………… 2個
- かぶの葉…………… 2枚
- 鶏むね肉 …… 100g
- \*酒…………… 大さじ1
- \*塩…………… ひとつまみ
- 片栗粉 …… 大さじ1
- にんじん(飾り用) …… 少々
- 千切りしょうが …… 1/2片分
- ★鶏ガラスープの素(顆粒) …… 大さじ1/2
- ★水 …… カップ2
- 塩…………… 適量

#### 作り方

- 1 かぶは皮をむき、すりおろす。かぶの葉は3cm位に切る。にんじんは千切り。
- 2 鶏むね肉は細切りにして、酒と塩をふり、片栗粉を軽くまぶす。
- 3 鍋に★のスープの材料を入れ、沸騰したら、鶏肉、にんじん、千切りしょうがを加え、3分煮る。
- 4 かぶのすりおろしと葉を加え、塩で調味してできあがり。

## スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭 ●保育士 ●正看護師 ●准看護師
- 歯科衛生士 ●ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー ●相談員 ●送迎ドライバー
- キッチンスタッフ など



[本部] 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていきたい。「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。